

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 ■使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北不動堂町ホテル計画	階数	地上10F 地下1F
建設地	京都市下京区油小路木津屋敷通下6北不動堂町522番・522番14・522番7	構造	RC造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年9月23日
敷地面積	244.90 m <sup>2</sup>	作成者	(株)MNAアトリエ 沼田
建築面積	161.72 m <sup>2</sup>	確認日	2010年9月23日
延床面積	1,381.11 m <sup>2</sup>	確認者	(株)MNAアトリエ 沼田



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 沿道型美観地区による景観に配慮しつつ、環境性能を兼ね備えた計画とした。		その他
<b>Q1 室内環境</b> 格子状ルーバー等による日光の制御。 内装材のほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用。 全館禁煙とし、喫煙ルームを設置。	<b>Q2 サービス性能</b> 客室の天井高さ=2.5mを確保。 外部の金属部分は亜鉛メッキ処理。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 沿道型美観地区による認定・ルーバー等による日光制御とグレア対策。 底による空間提供・路地状スペースによる中間領域の確保・防犯性への配慮。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=084	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマ、節水型機器の採用。 GL工法の採用により躯体と内装が分別可能。内装材と設備が錯綜しないよう配慮。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> の抑制に配慮。(LCCO <sub>2</sub> 排出量50.3%)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい